



安行小だより

安行小学校 2月号

令和5年2月1日

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校



笑顔あふれる安行小

校長 春川 嘉孝

各階の教室から、音楽を演奏する音であふれています。今月、学年ごとの音楽会を実施します。子供たちは楽しそうに演奏したり、歌ったり、教職員も一緒になって音楽を楽しんでいます。校内に明るい音楽が聞こえると、とても温かい気持ちになります。

1月の朝会で「大寒」の話をしました。1月20日が一年で最も寒いとされ、この日を過ぎると少しずつ日が長くなります。とはいうものの、1月25日は10年ぶりの大寒波となりました。温かく穏やかな気候が待ち遠しいところです。

日本には「春・夏・秋・冬」という4つの季節がありますが、それをさらに細かく分けて「二十四節気（24の季節）」「七十二候（72の季節）」にわけることがあります。「七十二候」では、季節ごとに鳥や虫、植物や天候などの様子が72の名前になっているものです。

1/30～2/3 ごろ 鶏始乳（にわとりはじめてとやにつく）

→ にわとりが春の気配を感じてたまごを産み始めるころ

2/4～ 2/8 ごろ 東風解凍（はるかぜこおりをとく）

→ あたたかい春風が吹き、川や池、湖の氷が解け始めるころ

2/9～ 2/13 ごろ 黄鶯睨皖（うぐいすなく）

→ 美しいさえずりでうぐいすが春を告げるころ

2/14～2/18 ごろ 魚上氷（うおこおりをいずる）

→ 湖や川にはっていた氷が割れ、氷下で泳いでいた魚が飛びあがるころ

2/19～2/23 ごろ 土脉潤起（つちのしょううるおいおこる）

→ 冷たい雪があたたかい春の雨に変わって、大地に潤いを与えるころ

2/24～2/28 ごろ 霞始隼（かすみはじめてたなびく）

→ 野山にぼんやりと春霞がたなびき、幻想的な風景が見られるころ



5日ごとに、見える景色が変わっています。少しずつ季節が変わっていく様子がわかります。2月にある6つの季節の情景を思い浮かべて、自分の好きな時期をイラストなどにしても面白いと思います。

三学期は、クラスの中で「心があたたまる言葉がたくさん聞けるようにしましょう」という話をしました。季節と共に進学、進級に向けてあたたかい雰囲気をつくっていきたいです。言葉は、その時の心や気持ちの様子で変わってしまうことがあります。発する言葉に、自分の思いをしっかりと伝えていけるとよいと思います。

2月22日 いじめ反対の日 として、カナダの学校で起きた実話をもとに「いじめをなくそう」と行動を起こした日です。男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校した様子を、からかわれ、暴力をふるわれたことから、反対運動が始まりました。本校でも22日は「ピンクシャツデー」の取組を実践します。この問題は、様々な要素があるように思われます。男の子がピンク色？そこには、人権感覚や人権意識が問われます。「○○だから、こうする（ある）べき」といった決めつけ。マイクロ・アグレッションという言葉があります。これは、言った本人は思っていないくても、言われた人からするととても嫌な気持ちになる言動です。自分を大切にすると同じように、人には様々な思いがあることを理解すること、行動することが「共生」「心豊かに生活する」ことにつながると感じます。言葉（行動）は心の鏡かもしれません。